



特集

JA県下統一誌面

農産物をさらにおいしく!

おすすめ加工品

新春のごあいさつ

令和七年の輝かしい新春を迎え、謹んでお祝いを申し上げます。

明けましておめでとうございます。昨年中は組合員の皆様をはじめ、地域の皆様そして関係機関・団体の皆様からJA並びに(株)JAシンセラに対し多大なご支援、ご協力を賜り衷心より深く感謝申し上げます。

今年の干支は巳であります。巳は再生や永遠の象徴とされており、脱皮し生まれ変わることから、新しい挑戦や変化に前向きな姿勢を示す年と言われております。社会の大きな変化の中で、我々の意識も含め改革の年にしていかなければならないと決意しております。

さて、昨年を顧みますと、国外では、長引くロシアによるウクライナへの軍事進攻やイスラエルをはじめとする中東戦争など、国際情勢の不安定な状況がさらに拡大しております。これにより、物資の流通が大きな影響を受ける中、肥料や農薬、燃油など農業資材価格の高止まりが続く、農業経営が圧迫される厳しい現状が続いております。国内では、元日に発生した能登半島地震をはじめ、全国各地で発生した豪雨など自然災害が多発した年でありました。夏にはスーパーの店頭から米が無くなる「令和の米騒動」が起き、令和6年産米

の概算金は5年産米より大幅に引き上げられました。生産コスト上昇分をわずかながら補うことができ、一息つくことができたと感じております。

このような社会情勢の中、昨年5月に「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、食料安全保障が議論されました。我々農業者にとっては、生産コスト上昇に見合う適正価格が実現しなければ、経営が破綻しかねない危機的状况であり、食料の安定供給に対する不安も高まっています。さらに、10年後には農業従事者が半減するとの見通しがされており、いずれも市場原理政策が進められてきた結果だと認識しております。今後、国策として生産現場を支えなければ食糧危機が現実となってしまうと考えており、JAグループの総力を挙げて、さらなる運動を展開してまいります。

現在、JAでは、10年後を見据えた農業ビジョンを描き、第9次3カ年計画を作成しております。基本方針として、多様な農業者が活躍する農業の展開、持続発展的な農業の展開、未来へつなぐ農業の展開を柱として、基本目標「農業の輝きで活力ある地域社会を築く」の実現を目指す内容です。農業従事者の減少や農業施設の老朽化などの課題

解決に向け、持続可能な農業経営を見据えた計画を策定してまいります。

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策など、様々な分野で持続可能な地域社会へ貢献する協同組合の役割を評価し、協同組合の認知の向上と振興のため、今年を「国際協同組合年」と定めております。依然として、農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、組合員の皆様と共にこの難局を乗り越えるため、協同組合の使命を自覚し、日本の食と農を守り続けるJAとして、役員一丸となって総合力を発揮してまいります。本年も皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、令和6年の組合員や組合員組織の素晴らしい活躍についてご紹介いたします。

○(一社)全国米麦改良協会・全国農業協同組合中央会主催「令和5年度全国麦作共励会」集団の部で、志和もち姫生産集団(紫波町)が全国農業協同組合中央会会長賞を受賞しました。

○東北農政局主催「令和5年度東北農政局輸出に取組む優良事業者表彰」で、JAいわて中央が東北農政局長賞を受賞しました。

○JA全農いわて主催「2024いわて純情りんごコンテスト」総合の部で、りんご部会都南支部Aが最優秀賞を受賞しました。

○岩手県農協養豚経営者連絡協議会主催「令和5年度肉豚出荷成績優秀者表彰」で、十二神しわ黒豚農場(紫波町)が出荷頭数平準率部門賞(2千頭未満)を受賞しました。

○岩手県農協青年組織協議会主催「令和6年度JA青年の主張岩手県大会」で山口勝也さん(青年部委員長)が優秀賞を受賞しました。

○JA岩手県女性組織協議会主催「令和6年度JA女性組織活動体験発表会」で高橋真由美さん(紫波地域女性部彦部支部)が優秀賞を受賞しました。

○JA岩手県中央会主催「令和6年度岩手県家の光大会」記事活用体験発表の部で生内ヨシ子さん(紫波地域女性部水分支部)が優秀賞を受賞しました。

○JA岩手県中央会主催「令和6年度岩手県家の光大会」で、記事活用グループ・煙山おかめ(矢巾町)が家の光記事活用優良グループの表彰を受けました。

岩手中央農業協同組合
令和七年 元旦

代表理事組合長 佐々木 雅博

本年も
よろしくお願ひします。



代表理事組合長
佐々木 雅博



代表理事専務
佐々木 正春



常務理事
菅原 弘範



常務理事
阿部 康博



代表理事
阿部 栄一



常勤監事
小岩 裕基

外 役職員一同

農産物をさらにおいしく！

おすすめ加工品

国消国産とは、「国民が必要とし消費する食材は、できるだけその国で生産する」という考え方のことをいいます。また、6次産業化とは、農業者が農産物を生産する1次産業に加えて、加工や販売などの2・3次産業を手掛けて、農産物の付加価値を高める取り組みです。

今回は、こだわりを持ちオリジナリティーあふれる加工品を製造する県内の生産者を紹介します。



JAいわて中央

リンゴのおいしさをこだわりのお菓子で

まつもと まさひろ さおり
松本りんご園 松本 誠宏さん (37)・沙織さん (36) 盛岡市・黒川



家族経営で果樹栽培を行う松本誠宏さんと、同園で営む菓子工房「^{クマリエ}kumarie」で自家産果実を使ったお菓子製造を手掛ける妻の沙織さん。定番商品の「3種のりんごパイ」は旬に合わせ3品種のリンゴを使用し、甘みや酸味、食感など品種ごとの特徴をバランス良く生かすことにこだわっています。リンゴの全国発送や市内を中心としたリンゴ・お菓子の訪問販売も行っている誠宏さんは「消費者のニーズを敏感に捉え、若い世代の消費に結びつくような活動にも力を入れながら、農産物の生産・販売を続けていきたい」と話しています。

【商 品】 3種のりんごパイ (写真右)、リーフアップルパイ (写真左)

【販売先】 mi cafe 盛岡市黒川4地割3 産直花山野 ^{かあさんや} 盛岡市手代森 24-57-1

JA新しいわて

「滝沢すいか」おいしさそのまま缶詰に

するが としや
駿河 俊也さん (47) 滝沢市・平蔵沢



県内一の生産量を誇る滝沢市の「滝沢すいか」。「滝沢西瓜缶詰」は、「滝沢すいか」のおいしさをそのまま缶詰に閉じ込めた逸品です。

同市でスイカを生産する駿河俊也さんが「夏以外の季節でもスイカを味わってほしい」という思いから企画・開発。スイカは加工が難しい食材ですが、スイカ本来の甘さや食感、風味にこだわり4年かけて商品化しました。一口かめば果汁と甘みが溢れ、シャリっとした食感を楽しめる同商品はフルーツポンチやヨーグルトなどもお勧めです。寒い冬にも、ぜひ『滝沢すいか』をご賞味ください。

【商品】滝沢西瓜缶詰 (白1缶、黒1缶・2個セット
各200g入り) ※黒缶のみアルコール1%未満含む

【販売先】ビッグルフ滝沢 滝沢市下鶴飼 1-15
チャグまるしえ滝沢 <https://chag.jp> など

JAいわて花巻

ブルーベリーの魅力ピューレでお届け

すずき くみこ
鈴木 久美子さん (63) 花巻市・石鳥谷



約9畝の園地で育てたブルーベリーをピューレに加工して販売する鈴木久美子さん。「料理に幅広く活用できて、好きな味に調整することができる」と、ピューレを選んだ理由を語ります。原料に使用するブルーベリーは、甘みと酸味がしっかりとついた完熟の果実のみ。調味料は一切入っておらず、使いやすいサイズで長期保存が可能なところも魅力です。今後について鈴木さんは「移動販売をやってみたい。焼き菓子や寒い季節向けのホットドリンクなど、作ってみたいものがたくさんある」と夢を膨らませています。

【商品】ブルーベリーピューレ (200g)

【販売先】農産物直売所「母ちゃんハウス だあすこ」
花巻市野田 335-2

JA岩手ふるさと

子どもたちの記憶に残る焼き芋屋を目指して

はしもとつとむ
橋本 勉さん(44) 奥州市・水沢



橋本勉さんは、令和3年からサツマイモの栽培を始め、自宅前で石焼き芋販売をしたところ近隣住民から「甘くておいしい」と好評だったことから、本格的に販売を始めました。使用する「紅はるか」は糖度が高く濃厚な味わいで、「シルクスイート」はしっとり滑らかな食感が特徴。翌年から販売している干し芋はお年寄りから子ども、赤ちゃんの離乳食にも使用されるなど幅広い世代に親しまれています。甘さの秘訣は「病害虫防除と土壌管理を徹底すること」と話します。橋本さんのモットーは「品質第一・安い・長く地元で愛される」ことで、衛生管理を徹底し加工製造・販売に努めています。

【商品】 石焼き芋、干し芋

【販売先】 産直来夢くん 奥州市水沢真城字杉ノ下51
産直センター菜旬館 奥州市前沢駅東2丁目8-7

JA江刺

自然の甘みを生かしたとうもろこしスープ

かみこだしろ
(株)上小田代 常務取締役 伊藤 卓哉さん(46) 奥州市・江刺



トウモロコシや水稻などを生産する(株)上小田代では、農産物の素材を生かした加工品の製造・販売に取り組んでいます。生産過程でできる規格外のトウモロコシを活用した「上小田代のとうもろこしスープ」は、食品添加物や砂糖を使っていないため自然の甘みを生かした濃厚な仕上がりです。スープは、黄・白・赤の全3種で、それぞれの味の違いを楽しめるほか、温かいスープだけでなく冷製スープもお勧めです。

常務取締役の伊藤卓哉さんは「作る人と食べる人のつながりを大切にしている。上小田代の農産物をたくさんの人たちに知ってほしい」と話します。

【商品】 上小田代のとうもろこしスープ(1袋250g入り全3種)

【販売先】 上小田代ネットショップ <https://koi-tomato.raku-uru.jp>
江刺ふるさと市場 奥州市江刺愛宕字金谷 83-2 など

JAおおふなと

昔ながらの梅干しの味、岩手から世界へ

おいかわのうえん 代表取締役 おいかわのりお 及川 詔夫さん 住田町・世田米



住田町世田米の及川詔夫さんは、東北でも数少ない、梅の栽培から梅干しの加工・販売までを手掛ける(有)及川農園の2代目社長です。自社で栽培する梅とシソを原料に作る梅干しは、天日干し・漬け込みなどの工程を約2カ月かけて仕上げる昔ながらの味で、及川さんはその素材や製法を「最大のこだわり」と話します。

同社の梅干しは、地元のみならず多方面で高く評価されており、全日空のファーストクラスの機内食にも採用。また、近年は梅酒の製造にも力を入れています。



【商品】手造り梅干し(無選別)

【販売先】「JAタウン」



及川農園



JAいわて平泉

素材の風味を生かした豆腐になるように

ひらいずみ (農)アグリ平泉 平泉町・長島



平泉町長島の(農)アグリ平泉では、29^銘で大豆を作付けし、たんぱく質の含有量が多く固まりやすい特徴を持つ「リュウホウ」や豆腐にするとおいしい「ミヤギシロメ」を生産しています。JA子会社の(株)だいず工房では、アグリ平泉が生産した大豆を原料に使用し、もめん豆腐や寄せ豆腐、油揚げなどを製造。豆腐は添加物を使用せず天然にがりのみで製造しています。アグリ平泉の石川文士良^{いしかわぶんしろう}代表理事は「大豆が加工され、地元を中心に消費されていることがうれしい。国産大豆の生産と消費に今後も関わっていきたい」と話しています。



【商品】木綿とうふ、寄せとうふ、あぶらあげ、生揚げ、京がんも

【販売先】JAファーマーズいわて平泉 一関市末広一丁目 8-15
道の駅平泉 平泉町平泉字伽羅衆 112-2 など



調理するお父さんたち



シェフはパパ！Xmas料理に挑戦 イケパパセミナー

YouTube



JAは12月14日、イケパパセミナー「Christmas Party」を紫波町土館の志和生活会館で開き、小学生以下の子どもを持つ家族8組31人が参加しました。

お父さんたちは、盛岡市内のホテルでシェフを務める菊池真也さんの指導を受けながら「チキンロール」など3品の調理に挑戦。調理の間、お母さんと子どもたちは羊毛フェルトを使った作品づくりを楽しみました。参加者は「作った料理はどれも豪華でおいしく大満足だった。今後も色々な企画を期待している」と話しました。



生内さんが優秀賞を受賞！ 令和6年度岩手県家の光大会

JA岩手県中央会は12月12日、盛岡市内で令和6年度岩手県家の光大会を開きました。県内各JAから女性部員や役職員ら約340人が参加。体験発表・記事活用の部では、JA代表として紫波地域女性部水分支部の生内ヨシ子さんが発表し、優秀賞に輝きました。

また、「家の光」三誌の普及活用運動への取り組みが評価され、JAやJA女性部、JA青年部が表彰されたほか、「煙山おかめ」(矢巾町)が「家の光記事活用優良グループ表彰」を受けました。



「何事も楽しんで！今日も二度と帰らない大切な日」と題して発表した生内さん



あいさつをする山口委員長



農業生産基盤の今後見据えて懇談 JA青年部・常勤役員意見交換会

JA青年部は12月6日、矢巾町内でJA常勤役員との懇談会を開きました。青年部役員とJA役職員ら18人が出席し、各地域から出された質問や要望などについて意見を交わしました。

開会にあたり、山口勝也委員長は「青年部で話題になっていることを共有し、今後についてご回答いただきながら有意義な時間にしたい」とあいさつ。懇談会では、JA施設の利用や次世代農業者の育成、JA農畜産物の生産状況などについて意見・要望が出されました。

・ SDGsへの
・ 取り組み

SDGsとは、2015年に国連193の加盟国で採択され、環境問題や社会問題などを解決し、2030年までに「持続可能な世界を実現する」ための世界共通の17の目標です。JAいわて中央では事業活動や行事などを通じてSDGsの実践に取り組んでいます。



集中して輪を投げる参加者



練習の成果を発揮！
JA年金友の会輪投げ大会

J A年金友の会は12月4日、紫波町総合体育館で令和6年度輪投げ大会を開催しました。同大会は、会員相互の親睦と健康増進に役立てることを目的に毎年開催しているもの。当日は、各地域から出場した計33チーム195人が熱戦を繰り広げ、団体の部では佐比内東明Aチーム(東部支部)が優勝を果たしました。

「団体の部」の準優勝以下の成績は次の通りです。▽準優勝 = 志和町第一(志和支部)▽第3位 = 甘木A(赤石支部)▽第4位 = 稲藤第一長寿クラブA(志和支部)



活発な教育文化活動に向け
JA女性部と常勤役員が意見交換

J A女性部は12月9日、J A常勤役員との懇談会を紫波支所で開きました。女性部役員とJ A役職員ら31人が出席し、各地域から寄せられた質問や要望などについて意見交換を行いました。

懇談会では、施設の管理や調理器具の更新、JA役員との対話活動に関する意見・要望が出され、J Aからは現状把握を進め、対応を検討する旨を説明しました。佐々木雅博組合長は「J A女性部とともに、地域や消費者を巻き込んだ教育文化活動を進めていく」と呼び掛けました。



戸塚幸子部長は「日頃の活動を認めていただく機会となるよう、忌憚のない意見を出してほしい」とあいさつしました



返し手を務める女性部員と息を合わせて餅をつく参加者



掛け声合わせてみんなでもちつき！
おもちつき体験会

J Aのフレッシュ部と女性部は12月7日、矢巾地域営農センターで「おもちつき体験会」を開き、親子など17組40人が参加しました。

参加者はJ A青年部やJ Aもち米生産部会矢巾支部の部員らの協力のもと、臼ときねを使って管内産「ヒメノモチ」10升分の餅つきに挑戦。その後、J A女性部員らの指導を受けながら、つきたての餅でいちご大福ときなこ餅を作りました。参加者は「孫に昔ながらの餅つきを体験させることができ良かった」と笑顔を見せました。

園芸

5年ぶりの開催！ 野菜合同生産者交流会



J Aは12月12日、令和6年度野菜合同生産者交流会を盛岡市内で開きました。同交流会の開催は5年ぶりで、野菜生産部会の部会員や市場関係者、J A役員ら約140人が出席しました。

第一部では、野菜生産部会を構成する7つの専門委員会ごとに分科会を開催し、今年度の取り組みの振り返りや次年度に向けた方針を確定。第二部の全体会議で

は、全農いわてやJ Aが掲げる来年度の事業方針が示されました。

開会にあたり、吉田公純部長は「今年を振り返ると、資材などの価格高騰、日照不足や大雨、酷暑による生育不全など、様々な事柄があった。同交流会が、昨日までの互いを労い、明日からの力を養う機会となれば幸いです」とあいさつ。佐々木雅博組合長は「今後も、生産者とJ Aがコミュニケーションをとりながら、地域をどうしていくか議論を進めることが大切だ」と呼び掛けました。

令和6年度の野菜全体の販売高(10月末時点)は、前年度実績比105%。果菜類は、全国的に猛暑や干ばつ等の影響で品薄傾向となり、堅調な相場で推移したことが高単価を後押ししました。

令和6年産 米検査買入状況並びに等級比率 (12月17日現在)

地域	うるち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	137,365	9,047	396	52	146,860	146,398
	93.5	6.2	0.3	0.0		100.3
矢巾	134,028	2,904	170	60	137,162	141,219
	97.7	2.1	0.1	0.0		97.1
都南	79,007	2,923	—	—	81,930	103,500
	96.4	3.6	—	—		79.2
盛岡	79,811	467	—	—	80,278	83,918
	99.4	0.6	—	—		95.7
JA計	430,211	15,341	566	112	446,230	475,035
	96.4	3.4	0.1	0.0		93.9
地域	もち					
	1等	2等	3等	規格外	集荷量計	計画数量
紫波	122,229	31,425	19,413	6,192	179,259	178,361
	68.2	17.5	10.8	3.5		100.5
矢巾	22,259	6,634	533	453	29,879	29,428
	74.5	22.2	1.8	1.5		101.5
都南	47	—	—	117	164	170
	28.7	—	—	71.3		96.5
盛岡	—	—	—	—	0	0
	—	—	—	—		0.0
JA計	144,535	38,059	19,946	6,762	209,302	207,959
	69.1	18.2	9.5	3.2		100.6

(上:30kg/個 下:比率%)

令和6年度 いわて農林水産躍進大会

12月20日、令和6年度いわて農林水産躍進大会が盛岡市内で開催されました。この大会は、意欲ある担い手の育成と地域の特性を活かした産地づくりを推進し、活力とうるおいにあふれた地域づくり活動や女性による農山漁村の活性化につながる取り組み、生産者の経営意欲を喚起することを目的に開催されています。大会では、技術の向上や地域の発展に貢献した個人や団体の表彰も行われ、管内から以下の方が受賞されました。(敬称略)

いわて農林水産振興協議会会長表彰

- 明日を拓く担い手賞
北田亮(盛岡市)
- 個性ある「産地づくり」賞
盛岡地方しいたけ生産振興協議会(矢巾町)
- いわて農林水産振興協議会設立20周年記念特別功労賞
岩手中央農業協同組合りんご部会

岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞

紫波町水分上地区環境保全活動組織(紫波町)



JA担当者に教わり実際の操作を体験する参加者

JAは12月2日、xarvio
FIELD MANAGER
(以下、ザルビオ)の機能
や操作を学ぶ研修会を紫波
支所で開き、管内の生産組
織の担当者など34人が参加
しました。

開会にあたり、営農販売
部担当手対策課の庄子司課
長が「JAでは農業従事者の
減少や高齢化に対する対策
の一つとして、ICT技術を



スマート農業の活用を学ぶ ザルビオ研修会

ザルビオ xarvio® FIELD MANAGER とは？

圃場データを解析し、管理における最適な情報を提供する栽培管理支援システム。人工衛星画像を元に地力ムラや生育ムラなどをリアルタイムで確認できるほか、AIによる生育・病害の予測で、施肥や防除、水管理の判断を支援します。



使用例：ザルビオの管理画面・生育マップ表示

導入のご相談は、営農販売部担当手対策課もしくは各地域
営農センター駐在 TAC までお問い合わせください。

営農販売部担当手対策課 ☎ 676-3428

取り入れた農作業の効率化・
省力化を推進し、導入を支
援している。研修でザルビオ
の機能や基本操作を知って
もらい、今後有効活用してい
てほしい」とあいさつしまし
た。

研修会では、はじめにザル
ビオを開発・運用するBAS
F.ジャパン(株)の担当者が、基

本的な機能について説明。特
別講演では、埼玉県で農産
物の生産や販売、農業コン
サルティングなどを行う農業
生産法人(株)ヤマザキライス
代表取締役の山崎能央氏が、
自身の営農経験を元にした
効率的な活用法を解説しま
した。その後、参加者は実
際にパソコンを使った操作研
修を行い、「利用者の情報が
ためになった」「活用するこ
とで、様々な営農の改善につ
ながると感じた」などの感
想を寄せました。

子牛市場情報 (令和6年12月18日・中央家畜市場)

地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	
雌	紫波	14	548,000	257,000	410,929	297	-30,321
	矢巾	7	515,000	312,000	399,429	291	150,429
	盛岡	5	583,000	393,000	514,800	316	130,400
	JA計	26	583,000	257,000	427,808	299	8,217
	市場計	115	594,000	141,000	423,539	283	42,876
地区	頭数	最高価格	最低価格	平均価格	平均体重	前月比	
去勢	紫波	11	621,000	422,000	549,455	326	93,705
	矢巾	8	632,000	324,000	488,375	317	53,597
	盛岡	11	650,000	499,000	555,455	319	97,255
	JA計	30	650,000	324,000	535,367	321	85,500
	市場計	155	878,000	283,000	542,929	311	72,992

キャッシュレス決済に 対応しています

JAでは、クレジットカード決済、QR
コード決済、電子マネー決済に対応し
ております。



※その他、対応する決済方法につきましては店頭でご確認ください

対象店舗

各グリーンセンター、燃料課、車輛センター

明るい新年願い、伝統の門松づくり 都南地域農家組合生活部



藤原さんに教わりながら門松を作る参加者

盛岡市の飯岡・見前・都南乙部地区の農家組合員で構成する都南地域農家組合生活部は12月中旬、30年以上続く伝統行事である「ミニ門松づくり講習会」を管内5会場で開き、総勢94人が参加しました。

17日に盛岡市三本柳の明戸公民館で開いた講習会には7人が参加。元JA職員の藤原孝子さんが講師を務め、粉ミルクの空き缶にわらを編んだこもを巻きつけ、竹と砂を入れて土台作り。その後、土台に縄で飾り結びをして松や梅、南天などをバランスよく飾りつけ、1時間半ほどで華やかな門松を完成させました。参加者は「思ったよりも作りやすく、皆で楽しい時間を過ごすことができた」と笑顔を見せました。

〈都南地域農家組合生活部〉

同部ではミニ門松づくり講習会のほか、組合員が手作りするぞうきんを地域の小学校へ寄贈する取り組みを約20年前から行うなど、長年にわたり、地域貢献活動にも力を入れています



盛岡産のお米を使った、
バラエティ豊かな米粉麺

おすすめは

めんこいめん

1袋1人前
350円(税込)

農産物の生産・販売や六次産業化に取り組む農事組合法人となんでは、同法人で栽培する「ひとめぼれ」を使った米粉麺「純米めん」を販売しています。昨年1月には、同商品をギフト向けにリニューアルした「めんこいめん」シリーズが新登場。つるつる・もちもちの麺がこだわりの同シリーズは全5種類で、エゴマつゆの旨みが特徴の「純米麺」をはじめ、「盛岡ラーメン」や「牛だしフォー」、盛岡グルメの定番「じゃじゃ麺」・「盛岡純米冷麺」と揃います。麺はいずれも小麦不使用で、スープまでグルテンフリー。お米の栽培風景が描かれたパッケージも好評で、同法人オンラインショップや一部取扱店舗ではセット販売も行っています。



盛岡市・下飯岡

農事組合法人 となん

TEL 639-1323

【受付時間】平日9:00~17:00



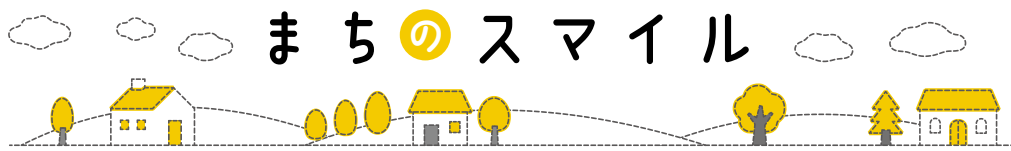
ホームページ



Instagram

【主な販売店舗】

- 農事組合法人となんオンラインショップ (1月下旬再開予定)
- サン・フレッシュ都南
- バルクアベニュー・カワトク ほか



なかよし
ファミリー



紫波町・桜町

たかはし さだのぶ ふみこ

高橋 貞信さん(82) フミ子さん(77)

グラウンド・ゴルフの県代表として「ねりんピック」に2度出場するなど県内外で大活躍の貞信さん。年金友の会赤石支部の支部長として輪投げやゲートボールにも励みながら、仲間との交流を楽しんでいます。家庭菜園が趣味で、様々な種類を手掛けるフミ子さんが最近挑戦したのはレモンやヘーゼルナッツの栽培。「珍しい植物を育てるのはワクワクします」と笑顔を見せます。

今後の抱負を聞くと「健康第一で、好きなことを存分に楽しんでいきたいです」と話す、多趣味なお二人です。



矢巾地域営農センター園芸特産課

かねひら しおり

兼平 栞依さん(令和5年入組)

学生時代の農作業体験などを機に農業に携わる仕事がしたいと思うようになり、JAを志望しました。入組以降は野菜の集出荷作業や営農指導を担当していますが、これからも野菜の栽培・販売について知識を深めながら、何事にも一生懸命・真面目に向き合うことを大切に、職員として経験を積んでいきたいです。

休日はショッピングや映画鑑賞をして過ごすことが多いです。最近はガチャガチャにハマっていて、好きなキャラクターをたくさんコレクションしています。



サン・フレッシュ都南さ
おでっくなんせ!

今月は 干し芋



2/3(月)

販売の恵方巻(税抜)



●恵方巻(1本).....1,200円

●しわもちもち牛ローストビーフ

恵方巻(1本).....1,700円

●海鮮恵方巻(1本).....1,500円

※入荷状況により変更となる場合がございます

サン・フレッシュ都南ではこの時期、冬の味覚「干し芋」が豊富に並んでいます。栄養価が高く、健康や美容の面でも人気の干し芋は、加熱して食べたり、料理やスイーツにアレンジするなど、様々な楽しみ方ができるのも魅力です。

また、2月3日「節分の日」には恵方巻の販売を行います。定番からしわもちもち牛を使った贅沢な恵方巻までご用意してお待ちしております。



高橋店長

明けまして
おめでとうございます。
今年も当店で旬の味覚を
お楽しみください!

サン・フレッシュ都南

住所 〒020-0853
盛岡市下飯岡
21-180

TEL 637-6801

営業時間 9:00~18:00



CROSSWORD クロスワード

二重マスの文字をA～Eの順に
並べてできる言葉は何でしょうか？

応募方法

郵便はがきにクロスワードの答え・郵便番号・住所・氏名・年齢、今月のテーマにまつわる話・誌面の感想をご記入の上、下記宛にお送りください。正解者の中から抽選で、「JAやサン・フレッシュ都南で使える「農協全国商品券500円分」を5名様にプレゼント！

今月のテーマ

心が温かくなった出来事

応募締切 1月25日 必着

送り先

〒028-3453 紫波町土館字沖田98-20
JAいわて中央

＼コチラから／

「JAんぷ1月号お楽しみクイズ」係

ホームページ

広報誌プレゼント応募フォーム ▶



E-mail

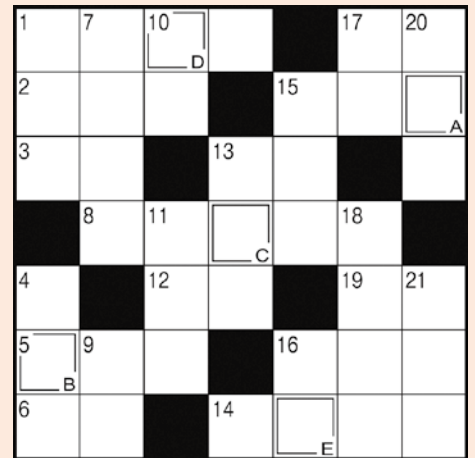
kouhou3244@ja-iwatechuoh.jp

※ご記入いただいた個人情報、おたよりコーナーへの掲載、並びにプレゼントの発送にのみ使用いたします。当選の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



12月号の答え

「セイカタイ」



→
ヨ
コ
の
カ
ギ

- ①宝船の絵を枕の下に入れておくとよいものが見られるとか
- ②窓を開けて取り込みます
- ③カード式のホテルもあります
- ⑤中東の国のひとつ。首都はテヘラン
- ⑥きねと白でつくもの
- ⑧「本の虫」と呼ばれることも
- ⑫七草を入れて炊くことも
- ⑬初詣で一年の——を祈った
- ⑭「見通しがきく」ことを願っておせち料理に入れます
- ⑮マスカラを付けるところ
- ⑯脊椎動物にはあります
- ⑰「Rがつかない月には食べるな」といわれる貝
- ⑱耳が冷えないようにイヤー——をつけた

↓
タ
テ
の
カ
ギ

- ①年賀状をコレからSNSなどに切り替える人も増えました
- ④サトイモの親芋のまわりにできます
- ⑦コートなどに用いる毛織物
- ⑨ここで話していても——があかないから見に行こう
- ⑩しんしんと降り積もるもの
- ⑪箱根駅伝は10——、計217.1kmで競います
- ⑬さんずい、うかんむりなど
- ⑮ほうきに乗って飛べるとか
- ⑯10を3回かけ合わせると
- ⑰縁起をかついで食べる受験生もいます
- ⑱おせち料理に入れる紅白の食材といえば
- ⑳チャールズ・チャップリンは——の王様です
- ㉑可燃ではありません



おたより紹介 テーマ▶ 2025年の抱負



嫌なことがあってもポジティブに受け止めて前向きに過ごしたいです。
(岩清水・S/47歳)

ギックリ腰にならないようにします！
です。毎日のストレッチ、ヨガ、運動を欠かさずに、筋力や体力を落とさないようにしたいと思っています。
(二日町・A/55歳)

高齢者の仲間入りです。健康に気を付けて農作業したいと思っています。クロスワードは脳トレの意味

で毎月楽しみにしています。
(片寄・T/65歳)

2024年もコンサートに行きましたが、2025年もチケットが当たればコンサートに行きたいです。
(又兵衛新田・S/59歳)

孫がピアノの発表会で演奏する曲を、私も弾けるように練習することです。孫は習い始めて1年目。初めての発表会です。
(津志田・C/72歳)

年齢80ともなると全てに無理が効かなくなってきました。そこで2025年も家族・知人の健康を願いつつ、自分でも健康に注意し、何事にも前向きに取り組んでいきたいと思えます。

(北矢幅・Y/80歳)



理事会報告

12月定例理事会が12月26日、紫波支所で開かれ次の事案について決議されました。

【決議事項】

1 全中に対する不祥事再発防止策の取組状況報告

(令和6年11月)

2 個人情報保護に関する諸規程の一部改正

3 農業振興大会での「株式会社武蔵野」への表彰

4 令和7年度機構改革

退職者

令和6年12月31日付で、次の方が退職されました。

今後のご健勝とご活躍を祈念いたします。

() は前所属。

◇松尾一美(矢巾支所金融課 渉外)

参加者募集中!

イケパパセミナー「恵方巻づくり」

- 日時** 令和7年2月1日(土) 10時～12時
- 会場** JAいわて中央紫波支所調理室・和室
(紫波町桜町字上野沢38-1)
- 対象者** 小学生以下のお子さまを持つお父さんとその家族
- 参加費** 一家族1,000円 ※JAいわて中央組員家族は半額
- 定員** 先着10組 ※定員に達し次第、募集を締め切ります

参加ご希望の方はJAいわて中央ホームページの申込専用フォームからお申し込みください

お問い合わせ

生活推進部生活推進課 ☎673-7468

お申し込みはこちら



JAバンクを装った 詐欺メールにご注意ください

現在、JAバンクおよびJAネットバンクを装った詐欺メールが不特定多数に送付され、JAネットバンクを装ったサイトが開設されている事例が確認されております。

詐欺メールは、異常なログインによりJAネットバンクが一時利用停止されていると偽り、利用停止の解除のために不正サイトへと誘導する内容で、ログインIDやパスワード、口座番号等を不正に取得する手口となっております。

当該メールとJAバンク(JA・信連・農林中金)は何ら関係ございません。受信された場合は、メールを削除いただき、メールに記載されているURLや不正サイトには絶対にアクセスしないようご注意ください。

万が一、不正サイトに情報を入力してしまった場合は、JAネットバンクを利用停止するよう、お近くのJA支所または下記のお問い合わせ先にご連絡ください。

JAネットバンクに関するお問い合わせ先

【JAネットバンクヘルプデスク】

フリーダイヤル:0120-058-098

お問い合わせ時間

平日 9時～21時 / 土日祝日 9時～17時



JAバンク岩手 給与のお受取りはJAバンクがおトク!

【期間】
令和7年
1/6日～
12/30日

JAに給与振込口座を新たにご指定いただき、

JAバンクアプリ & JAバンクアプリプラス の2つを

「ご利用登録いただいた方」と「その方をご紹介した方」に



QUOPay
クオ・カード ペイ

1,000円分

先着で
プレゼント

※令和7年1月から12月までのいずれかの月において、5万円以上の給与のお振込みが確認できたお客様が対象です。

JAに給与振込口座をご指定いただいている方を対象に

年間で県下合計200名様に

岩手県産
農畜産物
(2,500円相当)



抽選で
プレゼント

※令和7年6月または12月において、5万円以上の給与のお振込み実績が確認できたお客様が対象です。

詳しくはお近くのJA支所窓口または渉外担当者までお問い合わせください



今月の表紙 古館農産加工組合

毎朝つきたてで提供する「もち」や「だんご」をはじめ、季節商品も幅広く手掛ける古館農産加工組合「小屋ハウス」では、お正月を前に「お供え餅」と「のし餅」の製造に励んでいました。

紫波町産「ヒメノモチ」を原料に作る同組合の「お供え餅」は12月下旬に出荷のピークを迎え、家庭用から町の企業や保育施設でのイベント行事などでも親しまれています。太田充子組合長は「お供え餅は願いや祈りを込めてお供えされるもの。作り手の私たちが『皆さんが無事に一年を過ごせますように』という思いで作っています」と話します。今年で設立25周年を迎える同組合。太田組合長は「地域の皆さんの力になれるよう、お互いに支え合いながら今後も製造・販売を続けたいです」と笑顔を見せています。

This month's recipe.

新鮮食材で
 楽しく
 クッキング
 今月のレシピ
 164杯目



りんご釜のバニラアイス

材料(1人分)

- りんご(紅玉) …………… 1個
- 無塩バター …………… 大さじ1
- グラニュー糖…………… 大さじ1
- シナモンパウダー …… 小さじ1/2
- バニラアイス(市販品) …… 適宜
- 黒豆(市販品) …………… 適宜
- イチゴ …………… 1個

作り方

- ① りんごの釜を作る。紅玉をふたと器に切り分け、器部分は種周辺を丸くくり抜き、塩水に漬けてから水気を拭き取る。フライパンに無塩バターを入れ、中火で器の切り口側に焼き色を付け、グラニュー糖とシナモンを回しかける
- ② オーブンを200度に熱し①の紅玉のふたと器を10分ほど焼く。崩れないように傾合いを見て取り出す
- ③ 熱いうちに器部分にバニラアイスを入れて、ふたをのせ、イチゴ、黒豆を飾り出来上がり

編集後記



渡邊

JA全農が昨年出版した『JA全農が炊いた!「日本一うまいお米の食べ方」大全』を先日入手しました。誌面ではお米のおいしい炊き方や豊富なレシピ、47都道府県の銘柄米とごはんのお供まで、お米の魅力がたっぷりと紹介されています。今年はこの本を参考に大好きなお米をたくさん味わいながら、心も体も健康に過ごしたいと思います!



小野寺

毎年、国連は「国際年」を制定しています。これは、世界共通の問題について各国が年間を通じて啓蒙や対策を行うもので、今年には2012年に続き2回目の「国際協同組合年」です。同一の国際年が二度設けられるのは異例だそうで、協同組合に対する期待の高さがうかがえます。この機会を追い風に、JAへの理解や共感を広げる1年にしたいです。